

三瓶小豆原埋没林公園

施設管理者 : (公財) しまね自然と環境財団

施設所在地 : 島根県大田市三瓶町

調査見学期 : 平成 30 年 11 月 29 日 (木)

施設概要

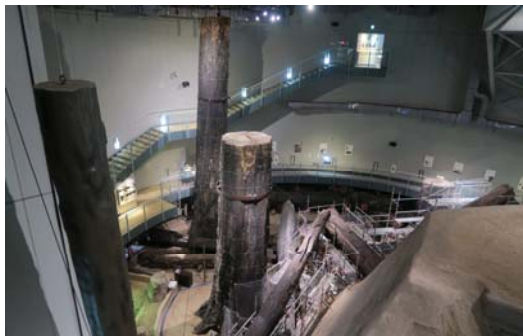
三瓶小豆原埋没林公園は、約 4000 年前に、三瓶山の噴火によって土石流や火山噴出物が短時間で堆積したことにより埋没した森を保存展示するために整備されました。埋没林は平成 10 年から島根県の三瓶自然館拡充事業の一環として本格的な発掘が行われ、約 30 本の立木が確認されました。保存展示するために、縄文の森保存発掘展示棟と根株展示棟の二つの展示施設が整備され、内部には発掘された埋没林や根株がそのまま保存されています。大きな木では、樹齢約 600 年、高さ 12m、根回り 10m を超える杉が保存されており、当時の森林の様子が伺えます。

地下施設は鋼管矢板による土留め壁で建設され、縄文の森発掘保存展示棟は直径 30m あり、地下 13m の地底で埋没林が観察できます。根株展示棟は直径 9m で地下 13m に根株が展示されています。

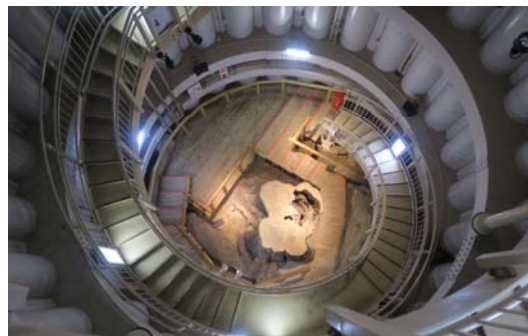
埋没林公園から約 4km、三瓶山の山麓を南に行ったところにある島根県立三瓶自然館(サヒメル)は、根株展示棟の根株の上部の杉が展示されているほか、三瓶山や島根県の自然に関する展示を見ることができます。



縄文の森保存発掘展示棟外観



縄文の森保存発掘展示棟内部



根株展示棟内部